

SRS12 ノーマルモード

ヤエス コネクト ライトの機能を持たない
トランシーバーと通話するとき

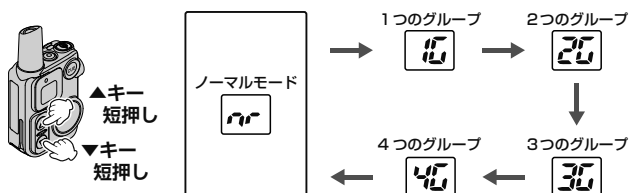
ノーマルモードで運用する場合は、始めにグループ内の全ての SRS12 の運用モードを“ノーマルモード”に変更してください
ヤエス コネクト ライトの機能は使えません

ノーマルモードにする

1台のSRS12でCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



[▼]/[▲] キーを短押しして“nr”を選びます



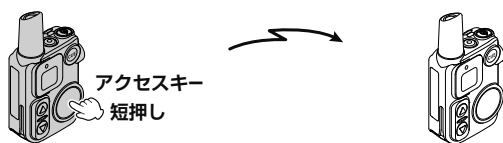
以下の手順でエアクローンをします

他の SRS12 でテレポートキーを
押しながら電源を入れます



アクセスキーを短押しします

ノーマルモードになります

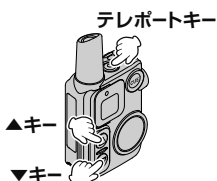


通話するチャンネルの換えかた

チャンネルは 01 ~ 20 から選択することができます

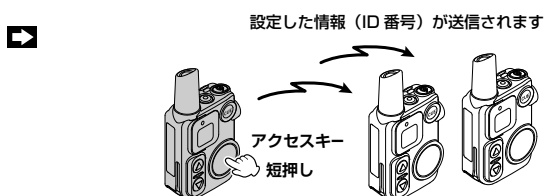
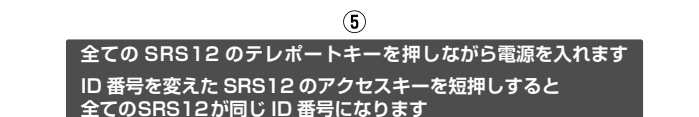
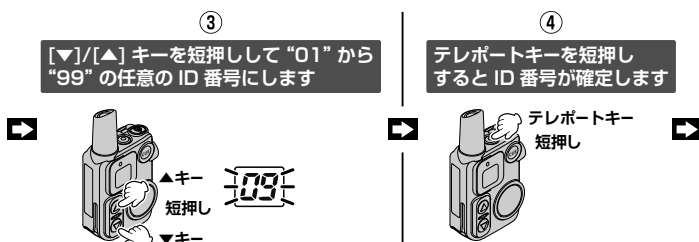
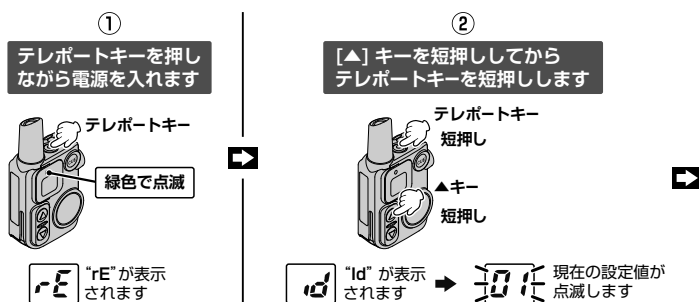
通話する相手も同じチャンネルにしてください

1. テレポートキーを一長押しします
2. [▼]/[▲] キーを短押ししてチャンネルを選びます
3. テレポートキーを長押しまたは約3秒間放置すると完了です

グループ以外の通話が聞こえるときは
グループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID を使わない設定 (oF) になっています
- ・グループコード番号が異なる他のグループの信号はミュートになり聞こえません

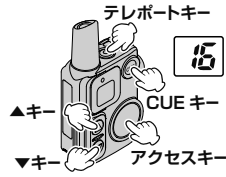
1 台のグループ ID を変更してから全ての SRS12 をエアクローンで
新しいグループ ID に同期します



通話エリアを拡大する（中継器 EXR100A を使用する）

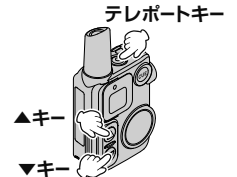
中継用チャンネルを使えるようにする

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“16”を選びます
3. テレポートキー短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして“on”を選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、中継用チャンネルが使用できるようになります



中継器のチャンネルにあわせる

1. テレポートキーを長押しします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして中継器で使用するチャンネルにあわせます
下記の「中継器とのチャンネル互換表」を参照してください
3. テレポートキーを長押しまたは約3秒間放置すると完了です



中継器を使わない設定に戻す

左記の「中継用チャンネルを使えるようにする」と同じ操作を行い手順4で“oF”を選びます

中継器とのチャンネル互換表

SRS12 と中継器“EXR100A”では、中継用チャンネルの表示が異なりますので、下表を参考にしてあわせてください

SRS12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
EXR100A	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	10	11	12	13	14	15	16	17	18

EXR100A および PSU10 は工場出荷時に、受信音の「サー」というバックノイズを軽減する“コンパンダ機能”がオンになっていますので SRS12 も“コンパンダ機能”をオンにしてください。オフのままだと音声聞き取りにくくなります
設定方法は最終ページの“ノーマルモードの全体設定”に記載の“コンパンダ”（設定画面表示 19）を“on”にしてください

EXR100A / PSU10 とのグループ ID 互換表

SRS12 と中継器“EXR100A”、構内アナウンス用ワイヤレススピーカー“PSU10”では、グループ ID の表示が異なりますので、グループ ID を設定の際には下表を参考にして設定してください

EXR100A	PSU10	SRS12（ノーマルモード）
01	—	01
02	—	02
03	—	03
04	—	04
05	—	05
06	—	06
07	—	07
08	—	08
09	—	09
10	—	10
11	—	11
12	—	12
13	—	13
14	—	14
15	—	15
16	—	16
17	—	17
18	—	18
19	—	19
20	—	20
21	—	21
22	—	22
23	—	23
24	—	24
25	—	25
26	—	26
27	—	27
28	—	28
29	—	29
30	—	30
31	—	31
32	—	32
33	—	33
34	—	34
35	—	35
36	—	36
37	—	37
38	—	38
39	—	39
40	—	40
41	—	41
42	—	42
43	—	43
44	—	44
45	—	45
46	—	46
47	—	47
48	—	48
49	—	49
50	—	50
51	01	51
52	02	52
53	03	53

EXR100A	PSU10	SRS12（ノーマルモード）
54	04	54
55	05	55
56	06	56
57	07	57
58	08	58
59	09	59
60	10	60
61	11	61
62	12	62
63	13	63
64	14	64
65	15	65
66	16	66
67	17	67
68	18	68
69	19	69
70	20	70
71	21	71
72	22	72
73	23	73
74	24	74
75	25	75
76	26	76
77	27	77
78	28	78
79	29	79
80	30	80
81	31	81
82	32	82
83	33	83
84	34	84
85	35	85
86	36	86
87	37	87
88	38	88
89	39	89
90	40	90
91	41	91
92	42	92
93	43	93
94	44	94
95	45	95
96	46	96
97	47	97
98	48	98
99	49	99
100	50	未対応
101	51	未対応
102	52	未対応
103	53	未対応
104	54	未対応
105	55	未対応
106	56	未対応

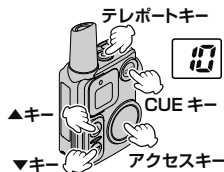
EXR100A	PSU10	SRS12（ノーマルモード）
107	57	未対応
108	58	未対応
109	59	未対応
110	60	未対応
111	61	未対応
112	62	未対応
113	63	未対応
114	64	未対応
115	65	未対応
116	66	未対応
117	67	未対応
118	68	未対応
119	69	未対応
120	70	未対応
121	71	未対応
122	72	未対応
123	73	未対応
124	74	未対応
125	75	未対応
126	76	未対応
127	77	未対応
128	78	未対応
129	79	未対応
130	80	未対応
131	81	未対応
132	82	未対応
133	83	未対応
134	84	未対応
135	85	未対応
136	86	未対応
137	87	未対応
138	88	未対応
139	89	未対応
140	90	未対応
141	91	未対応
142	92	未対応
143	93	未対応
144	94	未対応
145	95	未対応
146	96	未対応
147	97	未対応
148	98	未対応
149	99	未対応
150	—	未対応
151	00	未対応
152	—	未対応
153	—	未対応
154	—	未対応
155	—	未対応
156	—	未対応
157	—	未対応
158	—	未対応

メインとセカンドの2つのチャンネルを使用する

メインチャンネル“Ach”とセカンドチャンネル“bch”のどちらのチャンネルでも送信・受信をすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“10”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして“Pt”を選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、2つのチャンネルで送受信ができるようになります



受信時のピープ音で、メイン/セカンドどちらの信号かを判別

- ・メインチャンネルの信号を受信した時 → プツ
- ・セカンドチャンネルの信号を受信した時 → プブツ

送信のしかた

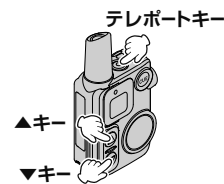
- ・メインチャンネルで送信 → アクセスキーを押す
- ・セカンドチャンネルで送信 → CUE キーを押す

メインとセカンドのチャンネルを変更する

工場出荷時は、メインチャンネルの“Ach”には“01”チャンネル、セカンドチャンネルの“bch”には“06”チャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

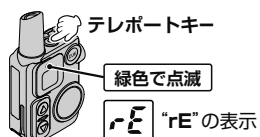
変更方法

1. [▼]と[▲]キーを同時に押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして変更したいチャンネル“A”または“b”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押ししてチャンネルを選びます
5. テレポートキーを短押しします
6. 一度電源をオフにします



変更したチャンネルをエアクロウンで同期する

全てのSRS12でテレポートキーを押しながら電源オン



チャンネルを変えたSRS12のアクセスキーを短押し



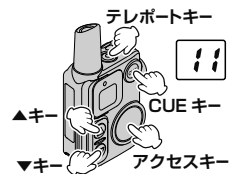
アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”になっています

この動作を、アクセスキーを押している時だけ送信し、放すと受信に戻るようにしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

変更方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“11”を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして動作を選びます（下表参照）
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、設定は完了です



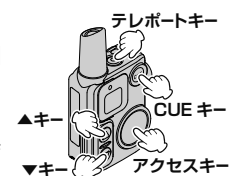
キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります 周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします	→	L1
キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります（工場出荷時の設定）	→	L2
キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります 話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします	→	L3
キーを押し続けたまま話すこともできます、この場合は放すとすぐに受信に戻ります	→	Pt
キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます	→	ct
キーを押しても送信しません。受信専用になります	→	oF

マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時に、マイクの感度を変えることができます

変更方法

1. CUE キーを押しながら電源をオンにします
2. [▼]/[▲] キーを短押しして設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押しして設定を変えます
5. テレポートキーを短押しします
6. アクセスキーを短押しします
7. 自動で電源がオフ → オンになり、設定は完了です



◎ 内蔵マイクの感度を設定する → 08 で設定します

マイク感度は L1 ↔ L2 ↔ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

◎ 外部マイクのマイク感度を設定する → 09 で設定します

マイク感度は L1 ↔ L2 ↔ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

ノーマルモードの全体設定

19種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUE キーを押しながら電源を入れます

CUE キーを押しながら電源スイッチを押して電源を入れます



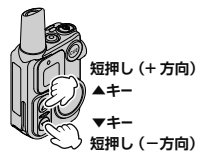
CUE キー
緑色で点滅

設定項目が
表示されます 例 01

②

[▼] または [▲] キーを短押しして設定する項目を選びます

短押し (+方向)
▲キー
▼キー
短押し (-方向)



例 07

③

テレポートキーを短押し

テレポートキー
短押し

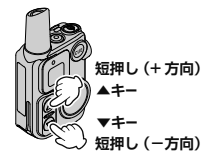


現在の設定が
点滅します 例 12

④

[▼] または [▲] キーを短押しして設定値を変えます

短押し (+方向)
▲キー
▼キー
短押し (-方向)



⑤

テレポートキーを短押しすると設定を確定します

テレポートキー
短押し



⑥

アクセスキーを短押しすると設定は完了です

自動で電源が
オフ → オンになります

アクセスキー
短押し



機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ビープ音量		
画面表示 01	L3	L1 L2 L3 of 音量小 → 音量大 音量オフ
CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択することができます		
CUE のビープ音を変える		
画面表示 02	A	A b c 好みにあわせて 3 パターンから選択することができます
CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音を好みに合わせて選択することができます		
受信ビープ音量		
画面表示 03	L2	L1 L2 L3 of 音量小 → 音量大 音量オフ
受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます。(通常はオンにしておき、相手の通話の始めと終わりをビープ音で確認できます)		
送信ビープ音量		
画面表示 04	L2	L1 L2 L3 of 音量小 → 音量大 音量オフ
送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択することができます		
受信ビープモード		
画面表示 05	RL	RL: 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります bE: 相手の通話を受信開始した時にだけビープ音が鳴ります En: 相手の通話が終了した時にだけビープ音が鳴ります of: ビープ音は鳴りません
受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます		
送信ビープモード		
画面表示 06	En	RL: 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります bE: 送信を開始した時にだけビープ音が鳴ります En: 送信が終了した時にだけビープ音が鳴ります of: ビープ音は鳴りません
送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます		
キービープ音量		
画面表示 07	L2	L1 L2 L3 of 音量小 → 音量大 音量オフ
トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択することができます		
内部マイク感度		
画面表示 08	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます		
外部マイク感度		
画面表示 09	L2	L1 L2 L3 感度小 → 感度大
外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます		
CUE キー長押し機能		
画面表示 10	of	of: 長押しと同様に、CUE (キュー) 機能でスタッフに合図を送ります Pe: アクセスキーを押すと「メインチャンネル (Ach)」で送信、CUE キーを押すと「セカンドチャンネル (bch)」で送信します PA: 当社の EXR100A や PSU10 の PA 機能搭載機へ送信して、構内アナウンスをおこなうことができます。送信はメインチャンネル (Ach) で行います Pb: 構内アナウンスをおこなうときに、他のトランシーバーからは音は出さないで EXR100A や PSU10 のスピーカーからだけ音を出します。送信はセカンドチャンネル (bch) で行います
CUE キーを長押しした時の動作を設定します		

機能項目	出荷時の設定	機能
アクセスキー動作		
画面表示 11	L1	L1: キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています L2: キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います L3: キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします Pe: キーを押し続けているときだけ送信します of: キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます of: キーを押しても送信しません。受信専用になります
送話するときの動作を選択することができます		
CH 番号表示		
画面表示 12	on	on: チャンネル番号が表示されます of: チャンネル番号の表示が消えます
チャンネル番号の表示を消すことができます		
スケルチレベル		
画面表示 13	L1	L1 L2 L3: 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが弱い電波が聞こえなくなることがあります
雑音をカットする機能で、信号が無い時に頻繁に「ザ、ザ」という雑音が耳障りなときは数字を大きくします		
設定内容転送		
画面表示 14	-	1. 設定を送る側と受ける側両方の SRS12 の設定項目を「14」にあわせませ 2. 両方の SRS12 のテレポートキーを短押しします (「re」の表示になります) 3. 設定を送る側のテレポートキーを短押しして「tr」の表示に変わったらアクセスキーを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ → 電源オンになります
全体設定の設定内容をグループ内の他の SRS12 にコピーすることができます		
秘話		
画面表示 15	of	of: 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) 1 2 3: 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じ数字に合わせてください
他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます		
レピータ (中継器) 設定		
画面表示 16	of	of: 通常の通話 (交互通話) をする時に選びます on: 中継器を使用して中継通話を行う時に選びます
中継器を使用して通話エリアを拡げたり、電波の弱いエリアの通話を改善することができます。中継器の使用方法は、中継器の取扱説明書を参照してください		
ファスト接続機能設定		
画面表示 17	of	of: ファスト機能を使用しないで中継通話を行います on: ファスト機能が動作して、中継器との接続時間を短縮できます 中継器側のファスト機能も「on」にする必要があります
当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮できます。		
送信出力		
画面表示 18	h1	h1: 連続して 3 分間送信すると一度 2 秒間受信状態になります。その後再び 3 分間連続送信できます (10mW 送信) Lo: 時間の制限が無く連続送信できます (1mW 送信)
中継器を使用した通話時の送信出力を選択することができます		
コンバンダ		
画面表示 19	of	on: コンバンダ機能がオンになります of: コンバンダ機能がオフになります
相手が話している時に聞こえる「ザー」というノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくする機能をオン / オフすることができます		
出荷時リセット		
画面表示 15 (点滅)	-	1. 「rs」にあわせませ 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります ※ リセットするとノーマルモードではなくヤエスコネクトライトのモードに戻ります
全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		